

～ 多様な人と自然がつながるサードプレイス～

心・体・社会が元気になる公園 Hattori Well-being Park

魅力向上事業 (ハード事業) の配置及び整備スケジュール

心のウェルネス

【1】四季折々の顔を見せる美しい景観づくり 【2】自然と一体になり、リラックスできる空間の創出



円形花壇 改修イメージ (位置図⑦)



レストハウス 改修イメージ (位置図⑨)



東中央広場 改修イメージ (位置図⑧)



複合型温浴施設 整備イメージ (位置図②)



カフェ 整備イメージ (位置図①)

体のウェルネス

【1】多彩なスポーツにチャレンジできる機会の提供
【2】誰もが気軽にできる健康づくりのサポート



スケボーパーク 整備事例 (位置図④)



フットサルコート 整備事例 (位置図⑤)

社会のウェルネス

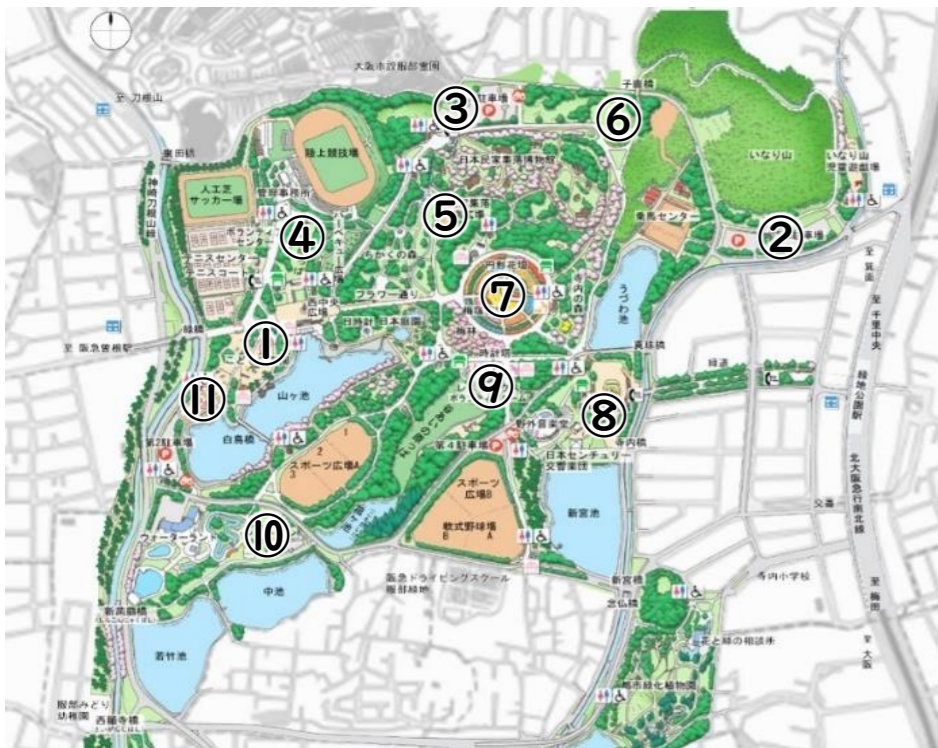
【1】大阪の顔として多様な賑わいを創出
【2】地域の憩い・交流の機会の提供
【3】誰もが利用しやすい公園への進化



体験型農園 整備イメージ (位置図⑥)



誰もが利用しやすい遊具 整備事例 (位置図⑩)



	位置	施設	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度 ～24年度
			下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期		
新設	-	カフェ (緑道⇒候補地見直し)	準備	準備	準備	準備	準備	準備	令和7年度内開業予定		準備
	①	カフェ (西中央広場)	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備
	②	複合型温浴施設	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備
	③	コンビニエンスストア	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備
	④	スケボーパーク	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備
	⑤	フットサルコート	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備
改修 更新	⑥	体験型農園	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備
	⑦	円形花壇	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備
	⑧	東中央広場	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備
	⑨	レストハウス	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備
	⑩	メイブーム (既存レストラン)	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備
	⑪	遊戯広場 (誰もが利用しやすい遊具)	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備	準備

凡例： 準備/整備 運営

※今後、関係機関との協議を進める中で変更される可能性があります。

府営服部緑地管理業務（PMO型）の主な事業内容とスケジュール

魅力向上事業（ソフト事業）



心のウェルネス



自然と触れ合えるアウトドア体験ができる関西最大級のアウトドアイベントの開催

いなり山の竹林の良さを広くアピールする竹を使ったアートクラフトによるライトアップイベントの開催



体のウェルネス



スケボーパークでのスケートボードスクールの定期開催

誰でも気軽に始められるノルディックウォーキング教室開催



社会のウェルネス



体験型農園で育てた野菜を調理する「収穫祭」を定期開催

地産地消の推進・地域活性化・魅力発信のため、地元の農産物や地域の特産品などを販売するマルシェ開催

植物管理と景観づくり（環境共生型まちづくり）

4つのブロックごとの景観づくり

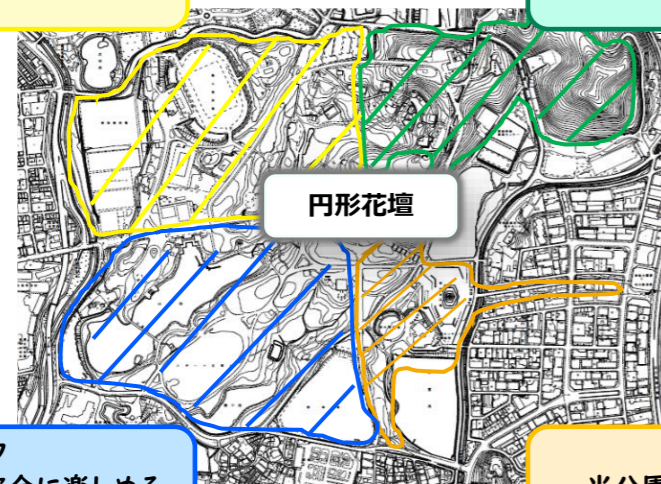
Bブロック
植物の多様性を感じるゾーン



Aブロック
自然と人間の“ほどよい関係づくり”をめざすゾーン



Cブロック
子どもやファミリーが安全に楽しめる明るい緑のゾーン



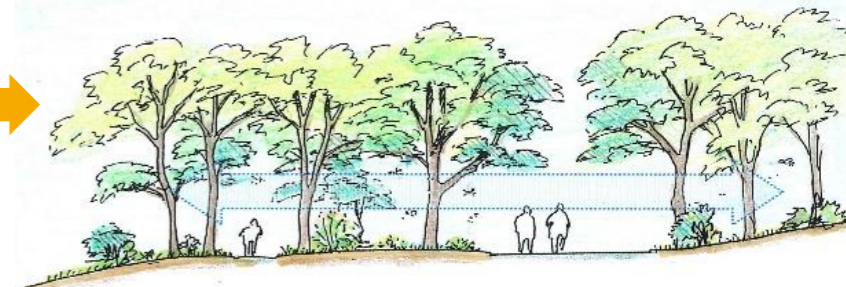
Dブロック
当公園の最大の玄関口としての華やかさを作るゾーン

森づくり 10年計画

現在



10年後のめざす姿



公園内には、日光が入らず利用困難な森が多くあることから、4つのブロックごとの樹木管理計画に基づいて、密度管理により埋もれている風景を掘り起こし、味わい深い景観の創出と生物多様性に富んだ森づくりを推進

利用促進・利便性向上（ICT・先進技術を活用したスマートパークの実現）

「人流把握ツール」の活用による効果的なサービス向上策の推進

スマートフォンGPSデータなどを活用した人流把握データをもとに、イベントや広報活動の効果も定量的に分析し、利用促進を図る

キャッシュレス対応

新設する施設や駐車場精算システムにおいて、キャッシュレス決済サービスを導入

モビリティサービスの導入

電動モビリティ等、高齢者や障がいのある方など多様な人の移動を支援



防犯カメラによる安全の確保

東中央広場から西中央広場にわたる東西軸を中心に防犯カメラを整備し、犯罪の抑止など安全安心な公園の管理運営に活用

先進技術の社会実装フィールドとしての活用

地域課題の解決や新たな事業を共創するプラットフォームなどを活用し、企業・大学などとともに、公園をフィールドとして、公園の抱える様々な課題の解決に向けた先端技術の社会実装に取り組む

ブロック	今後の管理対策（一部抜粋）
Aブロック	景観剪定や適切な竹林整備による周辺施設への誘導と期待感の創出 既存樹木を確認しながら、いなり山のサクラを順次八重桜に更新、新たなサクラの小道を形成
Bブロック	ちかくの森付近の樹木の景観剪定により、子どもたちが安全に遊べる環境を構築 集いの原っぱ・ちかくの森の草地の管理により居心地の良い芝生広場へ
Cブロック	親水デッキ周辺の藤の適切な管理による居心地の良い空間演出 山ヶ池周辺の景観眺望を向上させるためサクラ植樹計画を立案
Dブロック	緑地公園駅からの緑道の景観剪定を実施し、周辺施設への視界を良好に 緑道入口の「服部緑地」石碑の清掃、東中央広場の噴水の清掃